

県立奈良病院建替整備候補地 環境調査 業務説明書

1. 業務の目的

奈良県地域医療再生計画（下記、URL参照）に基づき、現在の県立奈良病院を、北和地域の高度医療拠点病院として建て替えるにあたり、その整備候補地としての適地性を検討するための基礎資料を得ることを目的として、環境調査を実施します。

※ 奈良県地域医療再生計画

→http://www.pref.nara.jp/dd_aspx_menuid-15404.htm

2. 県立奈良病院建替整備等候補地の概要

- (1) 所在地
奈良市石木町内、奈良市七条西町2丁目内（別添、位置図参照）
- (2) 区域面積
約12ha
- (3) 敷地条件
 - ・市街化調整区域（特定保留区域）
 - ・地域森林計画民有林
 - ・開発協議：要、開発許可：要（農地、山林）、造成：要
- (4) 交通アクセス
 - ・阪奈、第二阪奈道路、主要地方道枚方大和郡山線に近接
 - ・近鉄「西ノ京」駅より奈良交通バス乗車、「六条山」バス停に近接

3. 新県立奈良病院等の概要

- (1) 病院の位置付け
北和地域における高度医療の中心的な役割を担う高度医療拠点病院
- (2) 主な医療機能
 - ・救急医療（救急医療の要となる救命救急センターの充実）
 - ・周産期医療（周産期母子医療センターの機能強化）
 - ・高度医療（がん、脳卒中、急性心筋梗塞などに対応する機能整備）
- (3) 病院規模等
現県立奈良病院の病院規模より拡充予定。（併せて、地上又は建物最上階にヘリポートの設置を検討しています。）

※ 現県立奈良病院の概況（参考）
→http://www.pref.nara.jp/dd_aspx_menuid-4630.htm
- (4) 新県立奈良病院を中心としたまちづくり
今年度中に策定予定の新県立奈良病院の基本構想・基本計画に併せて、高度医療拠点病院を中心に、その周辺を含めて医療・福祉・健康づくりの視点から、県民がいきいきと暮らせるまちづくりを実現するための「県立奈良病院を中心としたまちづくり」を検討します。（別添、イメージ図参照。）
- (5) 備考
現在、新県立奈良病院の基本構想・基本計画は策定中であり、上記の「主な医療機能」、「敷地条件」、「区域面積」、「病院規模」等については、変更が生じる可能性があります。

4. 業務の内容

- (1) 業務計画書の作成
業務の実施にあたって、文献調査、現況調査及び予測・評価の方針等を示した業務計画書を作成します。
- (2) 文献調査
当候補地周辺の文献調査を実施します。
- (3) 現況調査
当候補地周辺の環境を把握するため、現況調査を実施します。
- (4) 現況調査報告書の作成
文献調査及び現況調査の結果をとりまとめた現況調査報告書を作成します。
- (5) 予測評価項目の選定
本事業の環境影響要因を抽出し、予測・評価を行う項目を選定します。
- (6) 予測・評価及び環境保全措置等の検討
上記で選定した予測評価項目について、本事業の実施による環境影響を予測・評価します。
また、予測結果に基づき、必要に応じて環境保全措置を検討します。
- (7) 環境影響の総合的な評価
各予測・評価結果に基づき、本事業の環境影響を総合的に評価します。
- (8) 環境影響調査報告書の作成
上記の現況調査の結果及び予測・評価等の結果をとりまとめた環境影響調査報告書を作成します。
- (9) 都市計画に係る資料の作成
当候補地が県立奈良病院建替整備地に決定し、都市計画決定を行う場合、上記(8)において作成した環境影響調査報告書に基づき、平成23年度に都市計画に係る資料等を作成します。
- (10) 打合せ協議
本業務の打合せは、業務着手時、中間打合せ3回、成果物納入時の計5回を基本とし、その他業務の執行状況に応じ、適宜行うものとします。
- (11) 成果品
 - 平成22年度分
 - ・環境影響調査報告書（中間報告書）
 - ・その他本業務において作成した資料等
 - ・打合せ等の議事録（要旨）
 - ・上記3つの原稿、データ等を収録した記憶媒体（CD-R等）
 - 平成23年度分
 - ・環境影響調査報告書（製本版）
 - ・環境影響調査報告書（製本版の概要）
 - ・その他本業務において作成した資料等
 - ・打合せ等の議事録（要旨）
 - ・上記4つの原稿、データ等を収録した記憶媒体（CD-R等）
- (12) 業務上の留意事項
 - 上記(1)～(11)の業務内容のうち、「夏期」「秋期」「冬期」に実施可能な現況調査及び予測・評価、資料・報告書作成等の業務は平成22年度業務、「春期」に実施する必要がある現況調査及び予測・評価、資料・報告書作成等に係る業務は平成23年度業務を予定しています。

- 本業務は、本県が今年度に並行して進めている新奈良病院の基本構想・基本計画の策定業務と連携を図りながら進めるものとします。
- 本県は、県立奈良病院の整備候補地の適地性を年内に判断する予定ですが、当候補地が整備地として適していないと判断された場合、それ以降に予定している調査業務を打ち切る可能性があります。
- 本業務の履行にあたっては、「本業務説明書及び特定された技術提案書により作成する特記仕様書」によるほか、奈良県土木部土木設計業務等共通仕様書によるものとします。
- 調査方法等は、「奈良県環境影響評価技術指針マニュアル」に準拠するものとします。
- 業務に用いる諸基準については、最新のものに準拠し、運用その他が改訂していないか十分に注意を払うこと。
- 委託契約完了後にかかわらず、成果品に誤りがあった場合には、受託者の責任において速やかにその誤りを訂正しなければなりません。
- 受託者は、委託業務上、知り得た秘密を漏らしてはなりません。
- 本業務説明書に明示なき事項、並びに疑義が生じた場合には、委託者・受託者協議の上、委託者の指示に従うものとします。

5. 履行期限

- ・平成22年度：契約の翌日から平成23年3月25日（金）まで
- ・平成23年度：平成23年度契約の翌日から平成23年9月末まで（予定）

6. 参加表明書の提出

(1) 提出期間

平成22年6月22日（火）から平成22年6月28日（月）まで
（ただし、土曜日、日曜日、祝日及び正午から午後1時までを除く、午前9時から午後5時まで。）

(2) 提出先

〒630-8501
奈良市登大路町30番地（奈良県庁舎主棟3階）
奈良県医療政策部新奈良病院建設室（建設準備係）
・TEL：0742-27-8809
・FAX：0742-22-7471

(3) 提出物

- ・様式1（参加表明書）
- ・様式2（資格調書）
- ・様式3（予定技術者の経歴）

※ フォントサイズは、10.5ポイント以上にしてください。
※ カラー可。

(4) 提出部数

正1部

(5) 提出方法

持参に限ります。

(6) 技術提案書の提出者の選定

参加表明書の提出者に対し、別表1の「技術提案書提出者を選定するための評価基準」に基づき審査し、上位5者程度を選定します。
平成22年7月上旬（予定）に、技術提案書提出依頼書又は非選定通知書を発送します。

7. 技術提案書の提出について

(1) 技術提案書の提出に係る質問の受付及び回答

- 受付期間
平成22年7月上旬（予定）
（ただし、正午から午後1時までを除く、午前9時から午後5時まで。）
- 提出先
上記6. 参加表明書の提出の（2）提出先に同じ
- 提出方法
上記の提出先へ事前連絡のうえ、下記Eメールアドレスあて電子メールにて提出してください。
審査の内容に関係しない軽易な質問内容を除き、電話、又は口頭による質問は受け付けません。

・ Eメールアドレス：narahp-kensetsu@office.pref.nara.lg.jp
- 質問内容に対する回答
上記の受付期間内に受理した質問内容をすべてまとめ、技術提案書提出者に選定された全事業者あて、電子メールにて回答します。

(2) 技術提案書の提出

- 提出期間
平成22年7月中旬（予定）
（ただし、土曜日、日曜日、祝日及び正午から午後1時までを除く、午前9時から午後5時まで。）
- 提出先
上記6. 参加表明書の提出の（2）に同じ
- 提出物
 - ・ 様式4（技術提案書）、様式5-1～5-3（提案内容①～③）
 - ・ 参考見積：平成22年度分、平成23年度分

※ ヒアリング時にパソコン（PowerPoint2003）を用いる場合は、電子データをCD-Rに保存し、1部提出してください。
（提出期限を過ぎての提出は認められません。）

※ 参考見積の様式は自由とします。
- 提出部数
正・副 各1部
- 提出方法
持参に限ります。

(3) 技術提案書を特定するための評価基準 別表2、「技術提案書を特定するための評価基準」を参照

(4) 留意事項

- フォントサイズは、10.5ポイント以上にしてください。
- カラー可。
- 図表の添付は可。(ただし、指定の枚数に含みます。)
- プロポーザルは、調査、検討及び設計業務等における具体的な取り組み方法について提案を求めるものであり、成果の一部の提出を求めるものではありません。
- 右肩以外に、提出者（再委託先を含む）を特定することができる内容の記述（具体的な社名やロゴマーク等）を記載しないでください。
記載がある項目についての技術提案書は評価しません。
- 技術提案書の作成に用いる言語は日本語、通貨は日本円、単位は日本の標準時、及び計量法に拠るものとしします。
- 技術提案書がこの書面及び別添の様式に示された条件に適合しない場合は、無効となります。

8. ヒアリング

事業内容に対する技術提案について、ヒアリングを実施します。

- (1) 日 時
平成22年7月中旬（予定）
- (2) 場 所
奈良県庁舎内会議室（予定）
- (3) 出席者
予定管理技術者（必ず出席）、予定担当技術者、予定照査技術者

※ 当日の出席者は、最大4名までとさせていただきます。
- (4) ヒアリング時間
プレゼンテーション15分、質疑応答15分の計30分を予定しています。

※ 詳細は、技術提案書提出時に追ってお知らせします。

9. 技術提案書の特定、非特定について

- (1) 特定、非特定の通知
提出された技術提案書とヒアリング内容について、「技術提案書を特定するための評価基準」に基づき審査し、平成22年7月下旬に特定、又は非特定を通知する予定です。
- (2) 非特定理由に関する事項
 - 非特定通知書を受けた者は、非特定通知書の通知日から起算して5日（県の休日を除く）以内に、その理由の説明を求められます。
 - 前述の回答は、説明を求められる最終日の翌日から起算して10日以内に書面（非特定理由説明書）により回答します。
 - 非特定理由の説明書請求の受付方法・場所、及び受付時間
 - ・ 受付方法：持参に限ります。
 - ・ 受付場所：上記6. 参加表明書の提出の（2）提出先に同じ

- ・ 受付時間：正午から午後 1 時までを除く、午前 9 時から午後 5 時まで

10. 備 考

- (1) 契約の締結
技術提案書の特定により特定した最優秀提案者と契約を締結します。
- (2) 本業務説明書及び特定された技術提案書に基づき、特記仕様書を作成することとし、この特記仕様書に基づき契約することとします。
- (3) 契約保証金
奈良県契約規則第 19 条の定めるところによります。
- (4) 契約書作成の要否
契約書の作成を要します。
- (5) 平成 23 年度の業務については、当該業務の委託契約の相手方と平成 23 年度当初に随意契約を締結し、当該業務を引き続き業務委託する予定です。
平成 23 年度の業務量の目安は、10,000 千円（消費税込み）を上限とする予定です。
履行期限は、平成 23 年 4 月上旬から 9 月末までを予定しています。
ただし、平成 23 年度の業務委託は、平成 23 年度予算の成立が前提条件であり、場合によっては契約締結に至らないことがあります。
- (6) 参加表明書及び技術提案書の提出後においては、原則として参加表明書及び技術提案書に記載された内容の変更を認めません。
また、参加表明書及び技術提案書に記載した配置予定の技術者は、原則として変更できません。
ただし、長期入院、死亡、退職など極めて特別でやむを得ない理由により変更を行う場合には、当該技術者と同等以上の担当者と発注者が認める者でなければなりません。
- (7) 参加表明書及び技術提案書の作成及び提出に要した費用は、提出者の負担とします。
- (8) 技術提案書の特定後、契約締結までの間に、特定した最優秀提案者が競争入札参加資格の制限、又は入札参加停止を受けた場合は、契約を締結しません。
- (9) 特定した最優秀提案者との契約締結に係る協議が不調に終わった場合は、技術提案書の審査において次点となった提案者と契約の手続きを行います。

技術提案書提出者を選定するための評価基準

| 評価項目 | | 評価基準 | 点数 | |
|---------------------------|-------------------------|-------|---|---|
| 予定技術者の 資格及び経験 (30点) | 技術資格及び 専門分野 (16点) | 管理技術者 | 以下の順で評価します。(尚、下記に該当しない場合は、選定しません。) ①技術士(総合技術監理部門:建設一建設環境)かつ技術士(建設部門:建設環境):6点 ②技術士(総合技術監理部門:建設一建設環境)、又は技術士(建設部門:建設環境):3点 ③RCCM(建設環境部門):1点 | 6 |
| | | 担当技術者 | 以下の順で評価します。<*1> ①技術士(総合技術監理部門:建設一建設環境)、又は技術士(建設部門:建設環境):6点 ②RCCM(建設環境部門):3点 | 6 |
| | | 照査技術者 | 以下の順で評価します。 ①技術士(総合技術監理部門:建設一建設環境)かつ技術士(建設部門:建設環境):4点 ②技術士(総合技術監理部門:建設一建設環境)、又は技術士(建設部門:建設環境):2点 ③RCCM(建設環境部門):1点 | 4 |
| | 予定技術者の 経験 (14点) | 管理技術者 | 環境調査業務の実績<*2>を以下の順に評価します。 ①病院に関する業務:7点 ②10ha以上の造成を伴う事業に関する業務:5点 ③上記①、②以外の環境調査業務:1点 | 7 |
| | | 担当技術者 | 環境調査業務の実績<*2>を以下の順に評価します。<*1> ①病院に関する業務:7点 ②10ha以上の造成を伴う事業に関する業務:5点 ③上記①、②以外の環境調査業務:1点 | 7 |

<*1>: 担当技術者を2名以上配置する場合は、各担当技術者の評価点数を合計し、合計点数を担当技術者の総数で割ることにより算出した平均点数を評価点数とします。

<*2>: 環境調査業務(現況調査から環境影響調査報告書の作成まで)について、平成12年4月1日以降に受託し、平成22年3月31日までに履行した実績とします。

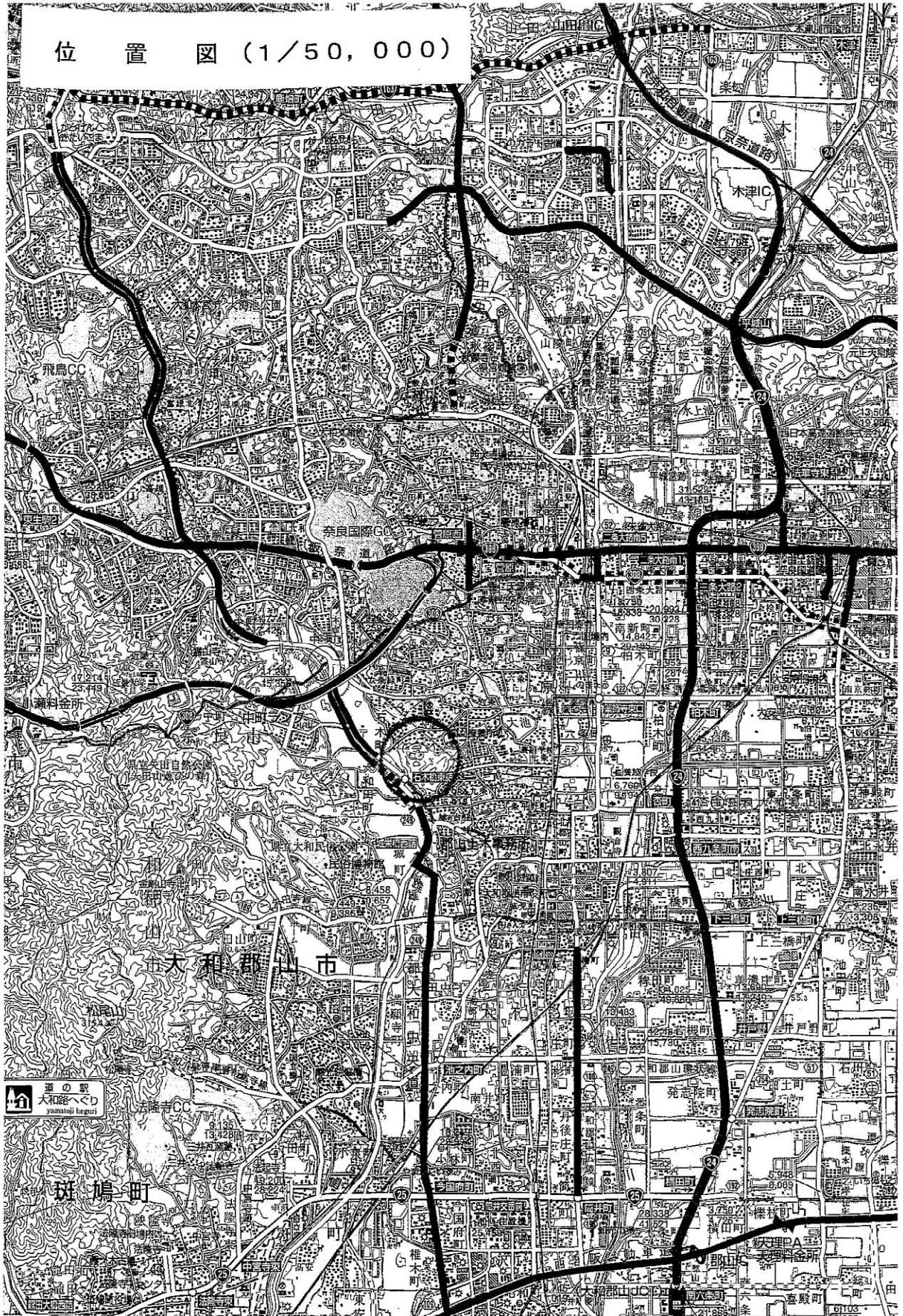
技術提案書を特定するための評価基準

| 評価項目 | | 評価基準 | 点数 | |
|---------------------------|---------------------------|--------------------------|---|------|
| 予定技術者の 資格及び経験 (30点) | 技術資格及び 専門分野 (16点) | 管理技術者 | 以下の順で評価します。(尚、下記に該当しない場合は、選定しません。) ①技術士(総合技術監理部門:建設一建設環境)かつ技術士(建設部門:建設環境):6点 ②技術士(総合技術監理部門:建設一建設環境)、又は技術士(建設部門:建設環境):3点 ③RCCM(建設環境部門):1点 | 6 |
| | | 担当技術者 | 以下の順で評価します。<*1> ①技術士(総合技術監理部門:建設一建設環境)、又は技術士(建設部門:建設環境):6点 ②RCCM(建設環境部門):3点 | 6 |
| | | 照査技術者 | 以下の順で評価します。 ①技術士(総合技術監理部門:建設一建設環境)かつ技術士(建設部門:建設環境):4点 ②技術士(総合技術監理部門:建設一建設環境)、又は技術士(建設部門:建設環境):2点 ③RCCM(建設環境部門):1点 | 4 |
| | 予定技術者の 経験 (14点) | 管理技術者 | 環境調査業務の実績<*2>を以下の順に評価します。 ①病院に関する業務:7点 ②10ha以上の造成を伴う事業に関する業務:5点 ③上記①、②以外の環境調査業務:1点 | 7 |
| | | 担当技術者 | 環境調査業務の実績<*2>を以下の順に評価します。<*1> ①病院に関する業務:7点 ②10ha以上の造成を伴う事業に関する業務:5点 ③上記①、②以外の環境調査業務:1点 | 7 |
| | 業務内容に対する 提案内容 (70点) | 提案内容① (10点) | 実施体制 | ・妥当性 |
| 提案内容② (30点) | | 病院整備に係る現況調査、評価項目及び手法 | ・妥当性 | 15 |
| | | ヘリポートの整備に係る現況調査、評価項目及び手法 | ・妥当性 | 15 |
| 提案内容③ (30点) | | 実施方針 | ・妥当性 | 10 |
| | | 実施フロー | ・妥当性 | 10 |

| | | | |
|-------|-----|-------|-----|
| | 工程表 | ・ 妥当性 | 10 |
| 評価点合計 | | | 100 |

- <*1>: 担当技術者を2名以上配置する場合は、各担当技術者の評価点数を合計し、合計点数を担当技術者の総数で割ることにより算出した平均点数を評価点数とします。
- <*2>: 環境調査業務（現況調査から環境影響調査報告書の作成まで）について、平成12年4月1日以降に受託し、平成22年3月31日までに履行した実績をいいます。

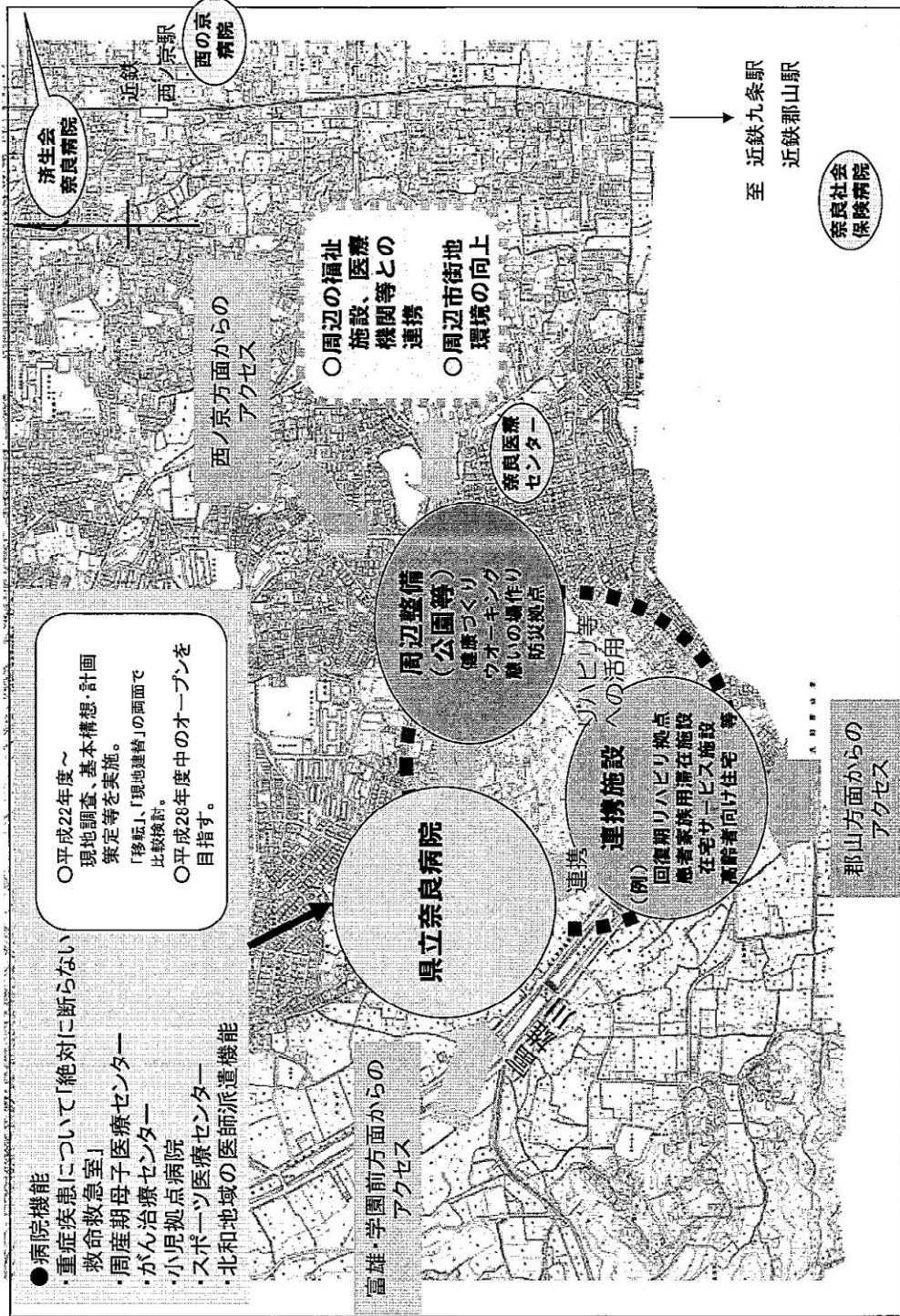
位置図 (1/50,000)



道の駅
大和路へぐり
yamatoji heguri

斑鳩町

県立奈良病院を中心としたまちづくり（イメージ）～六条山地区に移設する場合～



(様式1)

平成 年 月 日

奈良県知事 荒井 正吾 あて

住所または所在地

商号または名称

代表者氏名

印

参加表明書

業務名：県立奈良病院建替整備候補地 環境調査業務

標記について、次の書類を添えて提出します。

記

- 1. 資格調書（様式2） 1部
- 2. 予定技術者の経歴（様式3） 1部

【本プロポーザルに係る担当者の連絡先】

| | |
|----------|--|
| 担当部署名 | |
| 担当者名 | |
| 電話番号（内線） | |
| FAX番号 | |
| E-mail | |

※関係書類・質問回答等の送付先となります。

資 格 調 書

| | |
|---------------------|--|
| 住所または所在地 | |
| 提案参加申込者の 商号または名称 | |
| 代 表 者 氏 名 | |

■ 環境調査業務の実績

環境調査業務（現況調査から環境影響調査報告書の作成まで）を、平成12年4月1日以降に受託し、平成22年3月31日までに履行した業務実績を記入してください。

| | | | |
|-------|------|------|------|
| 委託業務名 | | | |
| 発注者名 | | | |
| 契約金額 | (千円) | (千円) | (千円) |
| 履行期間 | | | |
| 業務の概要 | | | |

※環境調査業務の実績は、3件以内で記入してください。

※各実績を証明するTECRIS登録書等の写しを、必ず添付してください。

(様式3)

(商号又は名称)

予定技術者の経歴

【管理技術者】

| | | | |
|--|------|-------|------|
| 氏名 | | 生年月日 | |
| 所属・役職 | | | |
| 保有資格 | 登録番号 | 取得年月日 | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| ■環境調査業務の実績 環境調査業務（現況調査から環境影響調査報告書の作成まで）を、平成12年4月1日以降に受託し、平成22年3月31日までに履行した業務実績を記入してください。 | | | |
| 委託業務名 | 発注者名 | 業務の概要 | 履行期間 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

【担当技術者】

| | | | |
|--|------|-------|------|
| 氏名 | | 生年月日 | |
| 所属・役職 | | | |
| 保有資格 | 登録番号 | 取得年月日 | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| <p>■環境調査業務の実績 環境調査業務（現況調査から環境影響調査報告書の作成まで）を、平成12年4月1日以降に受託し、平成22年3月31日までに履行した業務実績を記入してください。</p> | | | |
| 委託業務名 | 発注者名 | 業務の概要 | 履行期間 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

【照査技術者】

| | | | |
|-------|------|-------|--|
| 氏名 | | 生年月日 | |
| 所属・役職 | | | |
| 保有資格 | 登録番号 | 取得年月日 | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

【様式3の作成時における留意事項】

- ① 管理技術者、担当技術者及び照査技術者の保有資格について、保有資格を証明できる書面の写しを必ず添付してください。
- ② 担当技術者を複数配置する場合は、最大5名までとします。（経歴書の作成は、1名につき1枚としてください。）
- ③ 管理技術者、担当技術者の環境影響調査業務の実績は、3件以内で作成してください。
なお、記入に際しては、（別表1）「技術提案書提出者を選定するための評価基準」及び（別表2）「技術提案書を特定するための評価基準」の評価項目「予定技術者の経験の評価基準」に記載の、①病院に関する業務、②10ha以上の造成を伴う事業に関する業務、③上記①、②以外の環境調査業務のうち、いずれかに該当する実績を記入してください。
- ④ 管理技術者及び担当技術者の環境調査業務の実績について、その実績を証明できる（TECRIS登録書や契約書、又は業務内容が判断できるもの）の写しを必ず添付し、提出してください。

(様式 4)

平成 2 2 年 月 日

奈良県知事 荒井 正吾 あて

住所または所在地

商号または名称

代表者氏名

印

技 術 提 案 書

業務名：県立奈良病院建替整備候補地 環境調査業務

標記について、次の書類を添えて提出します。

記

- | | | | |
|---|-----------------|-------|-----|
| 1 | 提案書① (様式 5 - 1) | | 1 部 |
| 2 | 提案書② (様式 5 - 2) | | 1 部 |
| 3 | 提案書③ (様式 5 - 3) | | 1 部 |

※ 併せて写しを 1 部提出して下さい。

提 案 内 容 ①

- 本業務を進めるにあたっての業務実施体制を作成してください。
なお、作成にあたっては、業務の内容を十分に把握し、円滑に業務が進められるよう留意して、実施体制を作成してください。

提 案 内 容 ②

- 県立奈良病院建替整備の候補地としての適地性を検証するために必要な現況調査、環境影響評価項目及び手法について、記入してください。

なお、現況調査については、調査項目、地点・範囲、時期・回数等を記入してください。

また、特にヘリポートの整備に必要な現況調査、環境影響評価項目及び手法について記入してください。

※ 記入欄が不足する場合は、別紙（A4版縦）を作成してください。
ただし、別紙を含め作成する枚数は、5枚以内とします。

提 案 内 容 ③

- 本業務の客観性や合理性、妥当性を確保するためには、本業務全体をどのように進めていくべきであるか、先の①～②の提案内容と、本県が県立奈良病院の整備候補地としての適地性を年内（平成22年12月末まで）に判断することを踏まえ、業務全体（平成22年度～平成23年度）の①実施方針、②実施フロー、③工程表を作成してください。

※ 記入欄が不足する場合は、別紙（A4版縦、A4版横、A3版縦、A3版横の使用可）を作成してください。
ただし、別紙を含め作成する枚数は、5枚以内とします。